

小牧市上下水道事業の令和7年度事業概要

水道事業

＜予算概要＞

- | | | | |
|----------|-------|-------------------------------|--------------------------|
| ➤ 予算規模 | 収益の支出 | 30 億 881 万円 (R6 予算 | 29 億 5,972 万円) |
| | 資本の支出 | 14 億 9,713 万円 (R6 予算 | 19 億 3.965 万円) |
| ➤ 給水戸数 | | 7 万 1,000 戸 (R6 予算 | 7 万 1,000 戸) |
| ➤ 年間総給水量 | | 1,980 万 m ³ (R6 予算 | 1,990 万 m ³) |

＜ソフト事業＞

○水道週間（6月1日～6月7日）PR活動

- 公共施設の涼み処で「あいちの水」を配布します。

○広報誌の発行（上下水道）

- 上下水道事業のPRのため、年1回広報誌を発行します。



＜ハード事業＞（図面1,2参照）

○送水管整備事業 3億2,777万円(延長 330m)

- 横内浄水場で取水し処理された水道水は、送水管により本庄配水池へ送られ、市内各地へ供給されます。この送水管は布設後40年以上が経過し、今後は経年劣化の進行が見込まれることから、安全安心な水道水を継続的に安定供給することを目的として、横内浄水場から本庄配水池の間に、延長 4,280 メートルの耐震化した送水管を新たに整備しています。令和6年度末時点の進捗率は 34.7%です。（事業期間 R2～R12）

○水源施設改良事業 1億9,300万円

- 所管する浄水場、配水池などの水源施設について、経年劣化対策の更新などをはじめ施設の改良を計画的に進めています。

(主なもの)

- ・大山中継ポンプ場電気設備更新(R6～7) 一式(受変電設備、ポンプ制御盤などの更新)
- ・中部水源地取水井ダブルケーシング工事 一式(井戸の壁の二重化)

下水道事業

<予算概要>

➤ 予算規模	収益的支出	30 億 9,998 万円 (R6 予算	30 億 4,953 万円)
	資本的支出	18 億 2,969 万円 (R6 予算	20 億 535 万円)
➤ 接続戸数		5 万 2,300 戸 (R6 予算	5 万 1,800 戸)
➤ 年間総排水量		1,652 万 m ³ (R6 予算	1,665 万 m ³)

<ソフト事業>

○下水道の日（9月10日）PR 活動

- ウォーキングアプリ alko を活用したチャレンジ企画を行います。目標達成者に抽選で啓発グッズを配布し、下水道に対する関心を高めます。

○下水道用マンホール蓋（撤去品）の販売

- 撤去工事で引き揚げた、マンホール蓋を 10 枚程度、販売します。（広報、HP で周知）。

○下水道使用料改定の市民への周知

- 広報こまきや外国人向け情報誌への記事の掲載、検針時のチラシの折込みなどにより使用料改定を周知します。

<ハード事業>（図面3参照）

○未普及解消事業 4 億 1,348 万円（延長 3,060m）

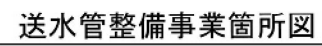
- 面整備：各地域全体の道路に、家庭から出る污水を集めるための污水管を整備します。
 - ・村中地区 2.8ha(530m)、久保一色地区 0.9ha(360m)、東一丁目地区 4.2ha(250m)、横内地区 8.7ha(760m)、野口地区 0.9ha(260m) など
- 幹線整備：面整備により集まった污水を流域下水道に流すための主要な管路を整備します。
 - ・間々原污水幹線 220m

○污水管更生事業 公共 4,000 万円（延長 300m） 農集 8,000 万円（延長 1,330m）

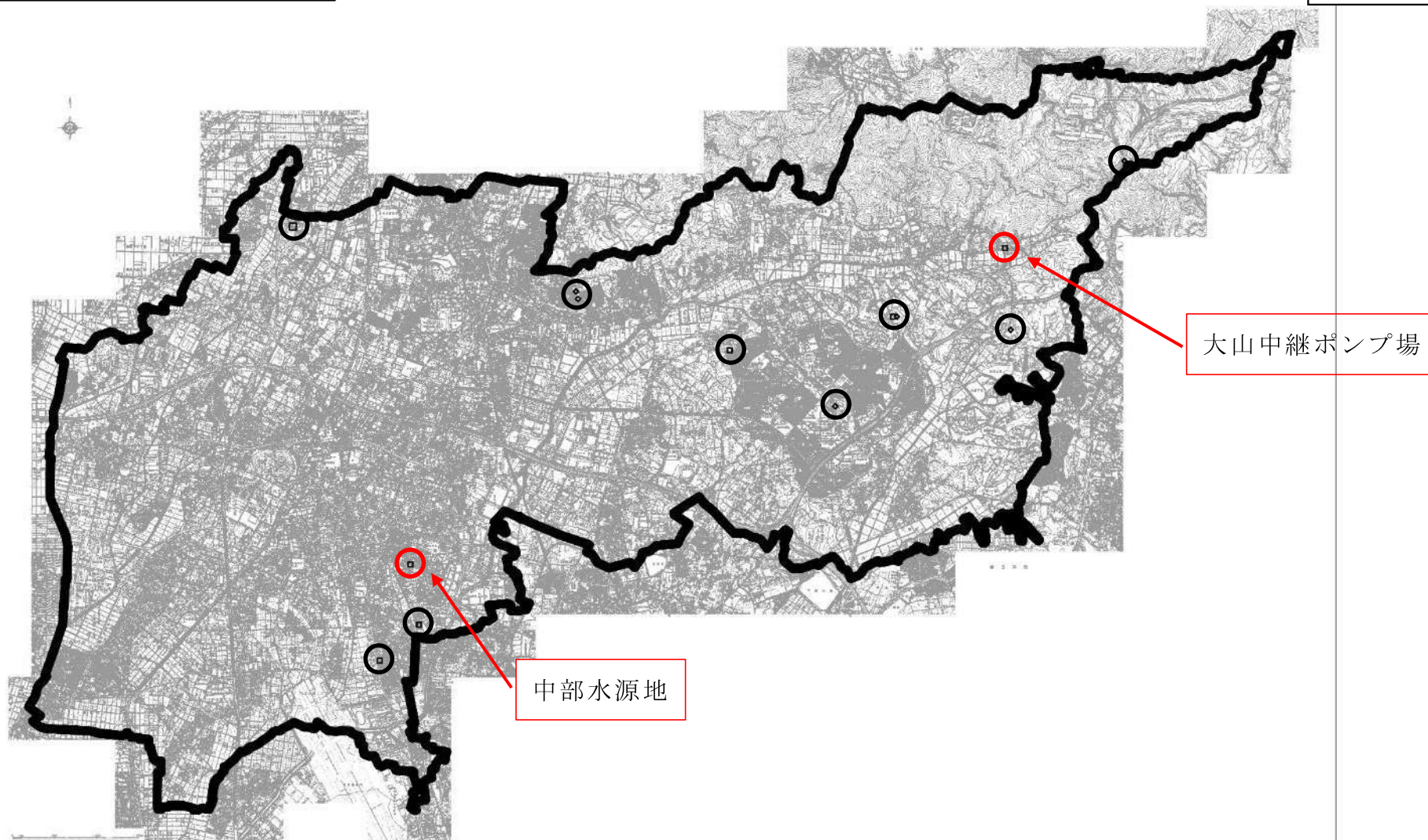
- 管の損傷や浸入水が確認されている、久保一色南二丁目、小牧原二丁目、及び大草地区で管更生工事を行います。

○桃花台污水中継ポンプ場改築更新事業 7,930 万円

- 管令和 5 年度の土木・建築構造物の非線形解析による耐震診断結果に基づき、令和 6 年度から令和 7 年度の 2 年間の予定で詳細設計、令和 8 年度から令和 9 年度で改築更新工事を計画しています。



	R7工事予定区間
	送水管整備済路線
	送水管計画路線（全体）φ500mm
	既設送水管φ500mm



図面 3

